

令和5年8月4日（金）

さいたま市役所西会議棟第5会議室

第2回さいたま市アーバンスポーツ研究会
「さいたま市の今後の取組について」

第1回研究会の振り返り

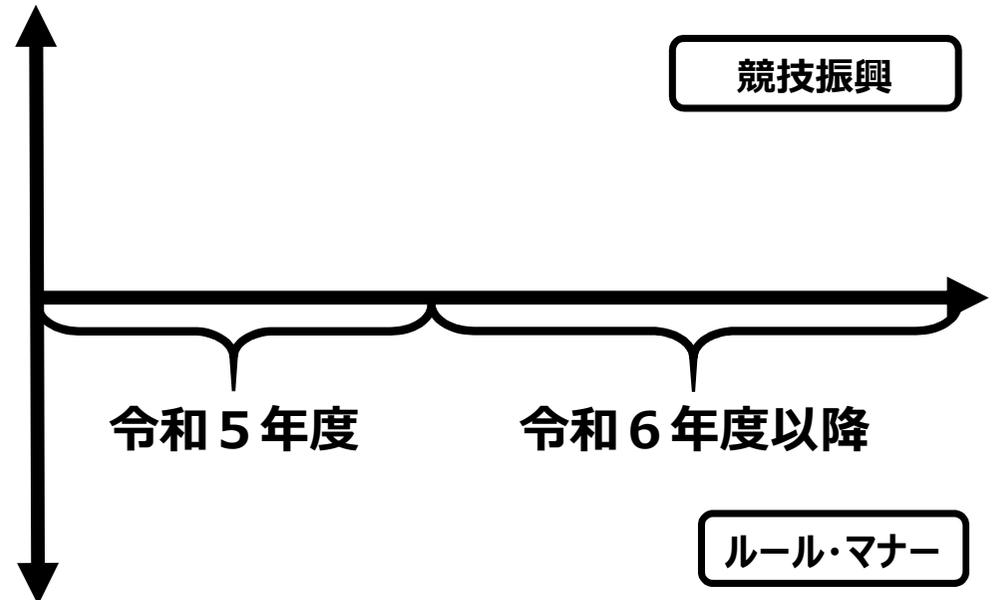
令和5年度の取組（予定）

	①体験型イベント	②スクールキャラバン	③ルール・マナーの普及啓発
回数	6回（土日×3回）	4回	—
場所	<ul style="list-style-type: none"> ➤ さいたま新都心バスターミナルほか市内各所 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 市内小学校 ➤ 市内保育園・幼稚園 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ①、②の会場など
対象	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 子育て世代の親子 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 小学生 ➤ 園児 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 未経験者・初心者

ご意見を伺いたいこと

【競技振興】	《アーバンスポーツの楽しさを伝え、競技の振興につなげる》	
	ご意見を伺いたい事項	体験イベント参加者が競技を継続するための方策（パークなどの紹介、スクールなどの選択肢の提示、別イベントの開催など）、非認知層へのアプローチ方法 など
【ルール・マナーの普及啓発】	《アーバンスポーツのルールやマナーが浸透し、健全なスポーツとして普及する》	
	ご意見を伺いたい事項	未経験者・初心者向けルール・マナーの内容、普及啓発方法手段 など

【参考】ご意見にあたっての視点



第1回研究会での主なご意見と今後の取組案について

第1回研究会での主なご意見と今後の取組案について

【① 競技振興】

主なご意見（要約）

- スクールキャラバンと体験イベントのリンクについて、**スクールキャラバンでその後の体験イベントの宣伝**することで、子どもの行動も広がり、できる機会も増えるので、そういった連携が一番いいと思う。（複数同様の意見あり）
- スクールキャラバンについては、体験した子どもたちの学校でどう継続できるか等について、**さいたま市でも継続的に実施すること**を見据えて取組むといいのでは。体験イベントについても、月1回の実施でもいいので、**継続性を持たせたい**。
- 動画配信について、**どんなイベントが開催されたかを動画にするのがいい**のでは。次回も来てねと繋がたほうが一番直接的。親御さんが内容を知り、安心にも繋がる。
- **スクールキャラバンや体験イベントを通じて、カルチャーコミュニティを作り広げていくこと**、地域の理解を得ることが大事で、その先に環境整備があると考える。
- スクールキャラバンでは、**運動の楽しさを知ってもらうこと**、それを通してマナーを守っていくという目的を前面に出したらどうか。また、**目的としたことが達成できているかを計測することで、来年再来年に繋がる**。
- アーバンスポーツによる**効果の社会への周知方法について、次年度の課題**になるかと思う。悪い例も提示すると社会は理解してくれる。

今後の取組案

【令和5年度】

- 体験イベントを実施する場所の近隣小学校等で、スクールキャラバンを実施し、イベントの宣伝を行う。
- 体験の機会を増やすとともに、非認知層へアプローチするため、市やさいたまスポーツコミッション等が主催するスポーツイベント等の開催時に体験イベントを実施する。
- 次回イベントやアバスポさいたまそのものを効果的に周知するため、体験イベントの内容を動画配信する。

【令和6年度以降】

- カルチャーコミュニティ形成の気運醸成を踏まえた、イベント会場の設定や保護者の取り込みの検討。
- スクールキャラバンにおける、「運動の楽しさ」の浸透度の検証方法の検討。
- アーバンスポーツの効果の調査及び発信。

第1回研究会での主なご意見と今後の取組案について

【② ルール・マナーの普及啓発】

主なご意見（要約）

- 体験会等を通じて、これから取り組んでいく子どもたちに伝えていくことが重要と考える。
- ショップとか施設管理者がその周辺のコミュニティの核になってたりすることが多いので、ターゲットと効果的な配り方をしっかりとらえた上で配布を集中投下したほうがいい。
- アーバンスポーツはストリートから生まれたスポーツであり、施設ができて、ストリートでやる人を100%防ぐことはできない。ただマナーを良くしましょうではなく、実際の違反や罰金等の事例と合わせて、リスクも正しく伝えていくことが重要。
- スクールキャラバンでは、運動の楽しさを知ってもらうこと、それを通してマナーを守っていくという目的を前面に出したらどうか。また、目的としたことが達成できているかを計測することで、来年再来年に繋がる。

今後の取組案

【令和5年度】

- 低年齢層からの浸透を図るため、スクールキャラバンにおいて、ルール・マナーの普及啓発を行う。
- カルチャーへの浸透を図るため、ショップ等へのルール・マナー普及啓発チラシの配布を実施する。

【令和6年度以降】

- 実際の罰金事例等の調査及び効果的な抑止策の検討。
- スクールキャラバンにおける、ルール・マナー普及啓発の効果検証方法の検討。
- ショップ等へのルール・マナー普及啓発チラシ配布の効果検証方法の検討。

第1回研究会での主なご意見と今後の取組案について

【③ その他】

主なご意見（要約）

- 市内にアーバンスポーツができる場が少なく、できる場所を聞かれることもあるが、答えることができず、もどかしい。目標として、マナーを守って競技ができる場が一箇所整備できるとよいのでは。
- 場所がないという話があったが、学校は地域に身近な施設であるので、そういったところを使えるようになると、わざわざ施設を作る必要もなくなる。体験イベントでやっている内容をスクールキャラバンにも組み込んで、学校側の懸念が払われるようであれば、学校・地域に理解してもらい、広がりを見せて、場所も増えていくといったやり方もあると思う。

今後の取組案

【令和5年度】

- 学校体育館等を、「アーバンスポーツができる場所」として活用することの実現可能性の検討。
- 常設に限らない、「アーバンスポーツができる場所」の検討。

【令和6年度以降】

- 常設の「アーバンスポーツができる場所」の拡大。
- 商業施設等でのアバスポさいたま開催による「アーバンスポーツができる場所」整備の気運醸成。

Urban sports' rules and manners

アーバンスポーツのルールとマナー

笑顔で楽しくみんなでアーバンスポーツを体験しよう！



さいたまアーバンスポーツ広域連携キャラクター
アーバンくん

Before (アーバンスポーツをする前に)

Hello!

あいさつをしましょう

Stretching

かならず準備運動をしましょう

Listen

スタッフの話をしっかりと聞きましょう

Look!

他のスポーツも見てみましょう

Manners & Rules (体験エリアについて)

Order!

コース内での追い越し禁止や順番を必ず守りましょう

Danger!

無理な使い方や技は絶対にしないでください

OK!

決められた場所や時間以外でやってはいけません

Don't clutter!

ペットボトルや食べ物は散らかさず、邪魔にならない所におきましょう

Wear (服装について)

OK!

ヘルメット/プロテクターを必ず着用しましょう

Sneakers!

運動のできる靴や服装で参加しましょう

in

余った靴の紐は靴の中に入れてください

OK!

スカートではなく、ズボンで参加しましょう

Others (その他)

Clean!

ゴミは必ず持ち帰り、来た時よりもキレイにしましょう

Photograph

撮影するときは許可を取りましょう

Injury!

ケガをしてしまった場合や体調が悪くなった場合には、すぐにスタッフに声を掛けてください

Don't bother others!

他の人の邪魔や迷惑になることはやめましょう

アバスポ
さいたま



Instagram
#urbankun_official



SSC
Saitama Sport Commission